

校内研究だより#2

働くことに適応PT

第4学年 総合的な学習の時間 「仕事の『こだわり』探検隊」

《授業について》

6月27日金曜日、今年度2回目となる校内研究授業を行いました。今回の校内研究は、第4学年の総合的な学習の時間として、「守半海苔店の『こだわり』を伝えるために作成したCMを発表し、よりよいCMにするために必要なことを考えることができるようにする。」ことをねらいとして授業を行いました。今回は、その様子をお伝えいたします。

①【導入】

学習計画を基に、本時では何をするのかを確認しました。各グループが考えた「コンセプト」の対象の立場になったとき、「守半海苔店に行きたい」「商品を買いたい」と思えるCMになっているかが大切なポイントであることを確認しました。また、このポイントが他のグループのCMを見る視点になることも確認しました。



③【展開Ⅱ】

他のグループのよかったところや自分のグループが受けたアドバイスを基に、よりよいCMにするために必要な事を考えました。「劇を入れているグループがあり、とても楽しくて分かりやすかったので、自分たちのCMにも入れたい。」といった、他のグループのよいところやアドバイスを基に考えることができました。



②【展開Ⅰ】

5グループがCMを上映し、互いに意見を伝え合いました。例えば、「『魔法の海苔』や『希望の海苔』という表現は、海苔が嫌いな人でも『食べてみよう』という気持ちになれる。」や「英語で話したり英語の字幕を付けたりして、外国人に海苔を知ってもらおうというコンセプト通りでよかった。」というように、本時のねらいに即した意見を伝え合っていました。

5グループが発表した後は、守半海苔店の小谷さんに評価をもらいました。作成したCMをたくさん褒めていただくだけではなく、「説明と画像が少しずれていたところを一致させるともっとよくなると思います。」といった具体的な改善案もいただくことができました。



指導・講評

◎新聞やポスターで表現しがちなところを「動画」で表現するというチャレンジがとてもよかった。

◎指導計画の学習活動が工夫されていると感じた。

△研究主題と手だての関連性を初めて読む人にも分かりやすく精査する必要がある。特に、今年度の研究の「ウリ」は何か？ということを学校全体で共通理解しておくことが必要。

△ゲストティーチャーについては、評価だけを聞くのはもったいなく感じる。守半海苔店のこだわりやCMを作ってみての疑問を直接聞くことができるとよかったのではないかな。

・「こだわり」とは、「つまらないことを必要以上に気にする」「つまらないことに心がとらわれている」などのネガティブな意味がある。ただし、「細かいところまで手を抜かない」「妥協せずよりよい価値を追求する」などのポジティブなイメージもある。

・探求的な活動のために、児童の「意識の流れ」を具体的に考え、学習活動を設定するとよい。

導入

これまでの学習を振り返り、
本時では、互いのCMを見て
意見交換を行うという
見通しをもつ。



展開Ⅰ①

CMを鑑賞し、
どのような点がコンセプトと
合っているかを伝える。



展開Ⅱ

意見交換を通して、
よりよいCMにするために
必要なことを考える。

「魔法の海苔」とい
うキャッチコピーがコ
ンセプトと合ってい
たので、自分の班で
もコンセプトに合っ
たキャッチコピーを
作りたいと思います。



展開Ⅰ②

守半海苔店の
小谷さんからの評価を聞く。

